

新潟県  
新潟県生徒会連盟による防災啓発活動

Disaster Preparedness Awareness Activities by Niigata Student Council Federation Niigata Prefecture

活動の目的：  
・災害への意識啓発と防災・減災に役立つ情報の発信  
・防災イベントなどに参加して防災啓発活動を行う

連盟の設立：令和6年3月  
連盟の参加校（五十音順）：敬和学園高等学校、新発田中央高等学校、東京学館新潟高等学校、新潟県央工業高等学校、新潟青陵高等学校、新潟明訓高等学校、日本文理高等学校、北越高等学校



「いつものもしもCARAVAN新潟 in ぼうさいくたい」で取材に応える  
Media interviews at the "ITSUMO MOSHIMO Caravan in Niigata in Bosai Kukutai".



「防災部通信」や「防災ゲーム」の制作を通して共に学ぶ

Learned through creating the "disaster preparedness department newsletter" and "disaster preparedness game".

【新潟県生徒会連盟】新潟県内の高校生徒会が相互に交流し、連携して防災啓発活動を行っています。



各校代表：左上から時計回りに、石山藍芽（日本文理）、石黒煌裕（新潟明訓）、岩橋波琉（新潟青陵）、滝澤空（東京学館新潟）、市島武尊（新発田中央）、桑山未夢（北越）、滝澤瑠美（新潟明訓）

新潟県生徒会連盟は、県内高校生徒会の交流促進と防災意識の向上を目的に、2024年3月に発足した組織です。現在は志を共にする8校が協同し、学校の枠を超えた連携を図っています。主な活動として、新潟大学災害・復興科学研究所のト部厚志教授に監修をいただきながら「防災部通信」を季刊で発行しています。また、日本防災士会・新潟県支部様のご協力を仰ぎながら行う防災啓発活動や、オンラインミーティングも精力的に行っています。私たちはこれらの活動を通じ、高校生の視点から地域の防災力向上に貢献するとともに、各校生徒会の活性化を目指して日々活動に励んでいます。

もしもの災害に備える全国の活動と、災害用トイレの最新情報をお届けしています  
We provide the latest information on emergency toilets and our activities across the country to prepare for disasters.



災害用備蓄トイレ対談

阪神・淡路大震災を経験した神戸市と災害用備蓄トイレについて対談しました。スターライトWEBサイトに記事を掲載しています。ぜひ一度ご覧ください。

Talks about emergency toilets for stockpiling

Starlite talked about emergency toilets for stockpiling with the City of Kobe that experienced the Great Hanshin-Awaji Earthquake. To read the article, please visit our website.

防災啓発活動

高校生の熱い言葉で社会を動かす

Disaster Preparedness Awareness Activities High school students' enthusiastic words move society.

新潟県中越地震の教訓が原点。新潟県生徒会連盟は高校間の交流だけでなく、生徒が自主的に校外での防災啓発活動を進めています。

2024年3月の連盟結成は、「世界津波の日」2022高校生サミットin新潟で広がった「このままではいけない」という問題意識がきっかけ。結成以来、防災専門の大学教授や新潟県防災士支部と連携し活動を推進。現在加盟校は8校に増え、季刊誌「防災部通信」の発行や年間10回以上のイベント参加を通じ、同世代のみならず一般の方々にも防災の重要性を呼びかけています。未来を担う世代によるこの活動は、全国的にもユニークな取り組みで、地域との交流だけでなく防災力強化に大きなプラスの影響を与えている活動として注目されています。

地域密着型啓発の特長

Characteristics of community-based awareness initiatives



災害を模型で忠実に再現し、子どもにも分かりやすく解説する

Recreates disasters and explains them to children.



体験型で、災害を疑似体験できる仕組みにする

Creates a system that allows people to simulate disasters.



家族で体験し、心肺蘇生を身近なものとして認識してもらう

Make people recognize CPR as something accessible.

新潟県生徒会連盟メンバーの声

防災イベントに参加されていた連盟の生徒さんからの回答を抜粋要約して紹介します。

Q1. 活動に参加するきっかけや思い、継続のモチベーションは何ですか？

・「被災地巡見」で東北地方を訪問した際、被災者の方々がご自身の辛さを顧みず当時のエピソードを伝えられていることに感銘を受けた。伝えてもらったからには私も伝えていかないと強く思った（新潟明訓高校 加藤さん）  
・活動をしていくにつれ防災を自分ごととして捉えるようになった。多くの方と関わり身近な「防災」のことを学べるいい機会と感じている（北越高校 桑山さん）

Q2. 興味を持ってもらうためにイベントで工夫・意識していることは何ですか？

・常に笑顔でいるようにしている。遠くから見ていい雰囲気と感じてもらえるようにしている（東京学館新潟高校 石高さん）  
・ゲームやクイズなどを通して災害を疑似体験し興味をもってもらうようにしている（新潟明訓高校 植木さん）  
・割り箸など子どもに身近なものを目に入りやすいところに陳列したり、電灯などは光らせておくようにしている（日本文理高等学校 小林さん）  
・ご家族連れには子どもに遊んでもらいながら、その間に保護者の方へ防災の話を始めるようにしている（新発田中央高校 市島さん）

Q3. 心に残っている言葉や表情などイベントで印象に残っていることはありますか？

・防災士から聞いた「防災に正解はない」という言葉（北越高校 桑山さん）  
・体験後笑顔になってくれた瞬間が印象に残っている（東京学館新潟高校 石高さん）  
・体験された方が新しい学びを得た瞬間に見せてくれる表情が好き（敬和学園高校 森さん）

Voices of Niigata Student Council Federation Members

The following is a summary of responses from students of the Federation who participated in the disaster preparedness event.

Q1. What motivated you to join, and what keeps you going?

・ In Tohoku, the survivors' selfless resilience deeply moved me to ensure their stories are never forgotten.(Kato san, Niigata Meikun HS)  
・ As I grew involved, disaster preparedness became a personal mission—a chance to gain practical experience through community interaction. (Kuwayama san, Hokuetsu HS)

Q2. What efforts do you make at events to generate interest?

・ We try to create a welcoming presence by staying positive and approachable.(Ishitaka san, Tokyo Gakkan Niigata HS)  
・ We use games and trivia quizzes to simulate disaster scenarios and spark interest. (Ueki san, Niigata Meikun HS)  
・ We display items familiar to children in easily visible places. (Kobayashi san, Nihon Bunri HS)

・ For families with children, we let children play before we discuss disaster preparedness with parents. (Ichishima san, Shibata Chuo HS)

Q3. Are there any words or expressions that have stayed with you, or anything else that left a lasting impression on the event?

・ The words a Japan disaster professional said: "There is no single right answer to disaster preparedness". (Kuwayama san, Hokuetsu HS)  
・ People's smiles after the hands-on experience left a lasting impression on me. (Ishitaka san, Tokyo Gakkan Niigata HS)  
・ Seeing the impact of hands-on experience on people's faces is rewarding.(Mori san, Keiwa Gakuen HS)

スターライトの情報発信

X（旧Twitter）の「もしもに備え災害トイレの大切さを伝える」アカウントでは、いざという時に役立つ災害トイレのことを厳選してわかりやすく発信しています。フォローといいねをお願いいたします。



Edit profile